

ピノキオ

平成31年度

4月 号

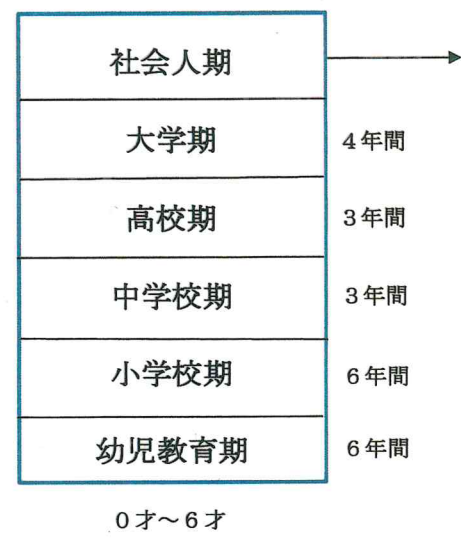
2019. 3. 28

平成の年度終りに

園長 宇田津 円

平成三十一年三月二十六日、平成がやがて幕を閉じようとしております。不思議な実感です。今年度中も保護者のかたがたには、いろいろとお気遣い、ご協力いただき、素晴らしい卒園児を小学校に送り出す事が出来たのは、担任に対するご協力があつたからだと心から感謝致しております。又、これからこの卒園児のかたがたの小学校―中学校―高校―大学への遠い道のりへの基礎が固められたのでは？と自負しております。

ほんの最近、幼児教育が見直され、卒園年次の最終日（一月、二月、三月）アプローチ・カリキュラムというのが出来ました。各園内容は違っているのですが、内容は小学校に行く為の「子どもの姿、ねらい、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（一〇の姿）、小学校に向けての配慮や工夫、気になる子への対応、小学校との連携、家庭との連携、評価反省の視点」などのチェックです。生目台ピノキオこども園は教育等のカリキュラムについては、毎年改善から改善をし、今に至っております。先程、高校卒業の方たちが9名、今春中学校卒の人が6名、訪問してくれました。彼等は宮大をはじめそれぞれ素晴らしい大学に入学が決定し、中学校を卒業した子どもたちは西高4名、南高2名、北高1名、商業2名、ウルスラ（野球部）1名、鵬翔（サッカー）1名という様に本当に未来は輝いているな〜と思いました。当園の「0才からの教育」が功を奏したのでしょうか。図面で紹介しますと、下記のようになります。



人生6階建てのビルだと考えてみては、いかがでしょうか。1階部分に何もなければ、このビルの基礎が出来ます。1階をしっかりと固めてこそ、その上に2階を建てる事が出来るのでは？と思います。「ピノキオに来たら、教育面の事が多くてたまらん」とおっしゃらずに、2階、3階、6階と上の階を楽しみに今を頑張っていきたいように。

なぜうまくいかないか？

私達は、子どもさんの状況がよくないと、すぐ保護者のかたと話し合いというパターンで話し合いを進めて来ました。ところが、その保護者のかたは、仕事が休めない、時間がとれないので朝子どもを連れて来た7時〜8時半ではどうか？仕事が終わった19時〜20時ではどうか？と言って来られて、なかなかまとまりませんでした。

結果、考え付いたのは問題のない子どもから話し合いを進めてレベルを高めていく。そして、問題のある子どもは、ぐんぐん延びていった子どもと接しながら自分を伸ばしていく。これが一番いい方法かな？と思いました。三十年度、ご自分から「子どものことで話し合いをしたい」とおっしゃる保護者の方が非常に多くなった事を嬉しく思っております。

平成三十一年 四月一日、
生目台ピノキオこども園になります

定員 一三五名（一号部分が5名増です）

0才…17名 1才…18名 2才…18名
3才…26名 4才…27名 5才…29名

教育部分を強化していきたいと思っております。保護者のかたのご協力がとても必要になって参ります。どうぞ、将来への投資だと思つて、ご協力いただきます様、お願いします。

